

主な事業① こども・子育て施策

新規 小学校・特別支援学校小学部の給食費無償化 3億1,089万円

継続 物価高騰による給食費値上げ相当分の支援 4,988万円

国の制度で小学校・特別支援学校小学部の給食費無償化が開始されます。制度が適用されない学年は、保護者の経済的負担を軽減するため、食材費高騰に伴う給食費の値上げ相当分を支援します。

新規 保育施設整備への補助 2億3,621万円

保育施設（東みずほ台）を新設する民間事業者に対し、施設整備費用の一部を補助します。

新規 1か月児健診の受診費用の助成 446万円

全ての1か月児が医療機関で发育発達状況の確認と疾病の早期発見ができるよう、受診費用を助成します。

新規 セルビア共和国シャバツ市でのホームステイ実施に向けた準備 165万円

子どもたちが国際交流に参加できる機会を提供し、異文化交流を進めます。

拡充 朝のこどもの居場所づくり 1,330万円

「朝の小1の壁」の解消を図るため、朝の時間帯における児童の見守りを全小学校で実施します。

主な事業② 社会保障施策

新規 補聴器の購入費用の助成 168万円

高齢者の聞こえのフレイル予防につなげるため、補聴器の購入費用の一部を助成します。

新規 がん患者の在宅療養費などの補助 53万円

AYA世代のうち18歳以上40歳未満の終末期がん患者を対象に、在宅療養に係る費用の一部を助成します。

新規 RSウイルス感染症母子免疫ワクチンの定期接種 2,781万円

法改正に伴い、4月から妊婦を対象にしたRSウイルス感染症母子免疫ワクチンの定期接種を実施します。



新規 がん患者のアピアランスケア用品の購入費用の補助 40万円

がん治療による外見の変化に苦痛を感じているがん患者を対象に、ウィッグなどの購入費用を助成します。

主な事業③ 未来を見据えたまちづくり

新規 水谷調節池周辺の整備 3,099万円

水辺の自然環境などの資源を活用した、市民の憩いの場となる親水ゾーンとして整備を進めます。

新規 「大御庵の杜」の保全 795万円

古民家や山林などの保全を適切に実施するとともに、後世に引き継ぎ、活用を充実するための保全設計を行います。

継続 新庁舎整備の推進 10億9,994万円

新庁舎整備に伴う水路の移設や建設実施設計を行うほか、計画的に新庁舎整備基金への積立などを実施します。

新規 省エネ家電買換えへの補助 2,000万円

省エネ基準を達成する家電への買換えに対し、購入費用の一部を助成します。

継続 キラリ☆ふじみ大規模改修工事 8億6,705万円

市の文化芸術の拠点として親しまれているキラリ☆ふじみの大規模改修工事を継続して実施します。



主な事業④ 地域防災力の向上

新規 燃えないまちづくりに向けた各種施策 3,471万円

準防火地域の指定に向けた基礎調査を実施するほか、通電火災予防のための感震プレーカーの設置補助、防災空地制度の検討、狭小地解消のための隣地統合や空家除却補助の要件緩和を行います。

新規 防災ガイドブックの改定 878万円

水防法の規定に基づく内水ハザードマップを追加した富士見市防災ガイドブックを作成し、市内全戸配布します。

継続 中央防災センターの整備 2億5,550万円

令和9年度の供用開始に向けて、中央防災センターの建設工事に着手します。

そのほかの事業など、詳しくは「令和8年度ことしのお金の使いみち」をご覧ください。



主な事業⑤ ICTの活用推進

新規 「行かない窓口」の普及 1,852万円

市役所庁舎内にキオスク端末を導入するほか、マイナンバーカードを用いたコンビニ交付サービスに課税証明書の発行を追加します。

新規 校務システムの更新 2億7,470万円

校務システムの更新にあわせて保護者連絡用アプリを導入し、利便性向上を図るとともに、教員の働き方改革を推進します。

令和8年度

理想の“未来”の実現に向けた推進力のある予算を編成

当初予算概要

令和8年度は、第6次基本構想・第2期基本計画の初年度となることから、理想の“未来”の実現に向け「計画を力強く前進させる年」と位置づけ、財政規律を踏まえつつ、推進力のある予算を編成しました。

令和8年度当初予算の主な施策は、小学校・特別支援学校小学部の給食費無償化、燃えないまちづくりに向けた補助や基礎調査の開始、「行かない窓口」の普及に向けたキオスク端末の配備などの新規事業を実施するほか、朝のこどもの居場所づくりの拡充、新庁舎整備に向けた水路の移設工事や建設実施設計、中央防災センターの建設工事など継続して進めている取り組みにも計画的に予算を計上しました。

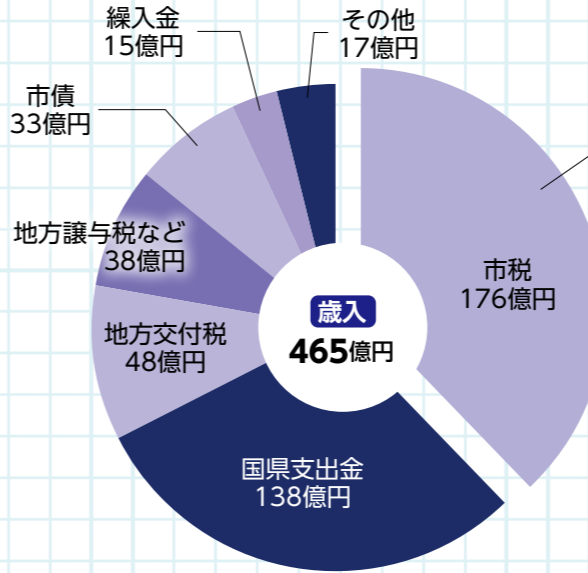
図財政課 ☎049-257-5163

市の予算総額 **737億円** 前年度比42億円増

一般会計 465億円	社会保障や道路整備、学校整備など、市の基本的な行政サービスを行うための会計	特別会計 210億円	国民健康保険や介護保険など、特定の事業を行うための会計	企業会計 62億円	料金収入で運営する会計（水道会計と下水道会計）
----------------------	---------------------------------------	----------------------	-----------------------------	---------------------	-------------------------

※金額は1億円未満を四捨五入、予算総額は各会計の単純合計です。

一般会計の内訳



市民1人当たりの市税負担

154,900円/年 (前年度比+2,800円)

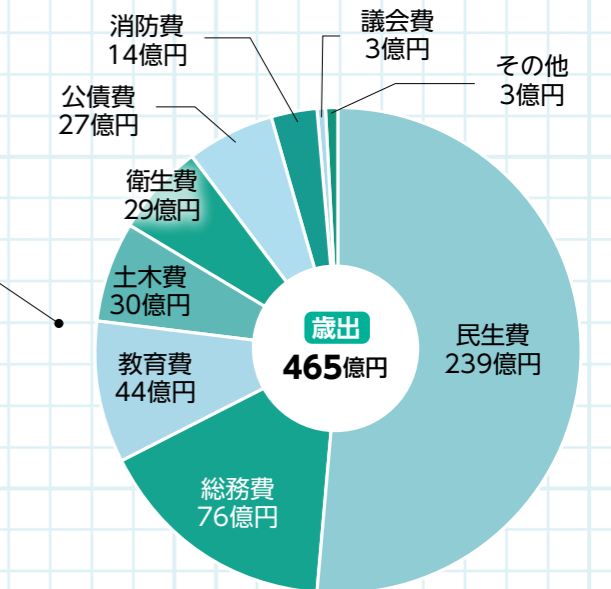
- 個人所得に対する市税(個人市民税) 74,100円
- 土地・家屋などに対する市税 (固定資産税57,000円・都市計画税10,200円) 67,200円
- その他の市税 13,600円

▶市税以外(国県支出金、地方交付税、市債など)
408,800円 - 154,900円 = 253,900円/年

市民1人当たりのサービスに係る費用

408,800円/年 (前年度比+23,700円)

- 福祉の充実(民生費) 209,700円
- 教育の振興(教育費) 38,700円
- 道路・公園などの整備(土木費) 26,300円
- 環境・衛生の向上(衛生費) 25,200円
- 借入金の返済(公債費) 24,000円
- 消防・救急業務(消防費) 12,600円
- 産業の振興(農林水産業費など) 2,500円
- その他(議会費・総務費など) 69,800円



※市民1人当たりの金額は、予算額を2月末現在の人口で除して求めたものです。